

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。
ジャンルの目標	生涯にわたる学習活動の基礎となる青少年期に、学校や家庭、地域と連携して事業を展開し、様々な体験活動を行う場を提供する。伝統文化、ものづくり、自然との触れ合い、宿泊体験などを通じて、子どもたちの自主性、創造性、協調性、社会性等を育む。

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	おもしろ科学実験隊	高校教諭や大学教授を講師に、酸とアルカリや液体窒素などの実験を実施。
②	通学合宿	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育んだ。事業に協力する地域住民・学生との交流も回り地域の絆を強めた。
③	夏休み子ども水彩画教室	公民館利用サークルを講師に色のイメージを学んでから、それぞれのモチーフをもとに作品を仕上げた。子どものやる気や自主性・協調性などを養った。
④	夏休み子ども茶道教室	茶道を学ぶことにより、日本文化を知り、礼儀作法や美しい立ち振る舞いなどを身につけた。
⑤	夏休み子ども勾玉教室	勾玉作りや展示した土器などを通じて、縄文時代の生活に触れた。
⑥	水辺観察	印旛沼の水質についての講義や紙漉き体験、谷津の生きものの観察等を行い、佐倉市の自然環境の現状と課題を学んだ。
⑦	夏休み子ども華道教室	季節の草花を生ける華道を学習することで、日本の伝統文化に触れることができた。
⑧	夏休み子ども社会科見学	根郷地区に所在する(公財)印旛都市文化財センターで、文化財保護に携わる仕事内容を学習し、展示室の見学や縄文土器の拓本体験を行った。
⑨	クリスマスコンサート	音楽鑑賞を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団(地域に根ざした市民楽団)の音楽に親しむ機会を提供する。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	今年度の想定課題は解決に進んだが、新たな課題(根郷地区の小学校3校すべての通学合宿への参加など)について、解決策を検討していきたい。
改善	次年度への課題と展望策	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価	
B	<p>事業規模</p> <p>A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。</p> <p>成果</p> <p>近年、子どもたちが体験活動をする機会が減ってきている。ものづくりや自然との触れ合い、伝統文化に接する機会等を提供することで、子どもたちは自主的に協力し合い、創造力豊かに取り組むことができた。また、地域ボランティアにご協力いただいたり、公民館利用のサークルに講師をお願いしたりしたことで、地域とのつながりができた。</p> <p>課題</p> <p>事業の成果は図られていると考える。その成果を、安全に、より多くの子どもたちがいかに体験してもらうかが課題のひとつである。 新しい参加者にもリピーターにも楽しんでもらえるよう、講座の内容について、より検討を加えていきたい。</p>

ジャンル	青少年教育
事例発表の事業	夏休み子ども体験教室

★公民館運営審議委員意見

委員①	<p>★ジャンルについて</p> <p>地域の小中学生を地域で育てるとの意味で、大変良い企画と思います。是非、継続でお願いいたします。 地域の高校(佐倉南高校)と連携して、様々な企画に高校生をボランティアとして活用する方向でお願いします。</p> <p>★事例発表の事業について</p> <p>大変、ボリュームのある事業で、準備等から大変であったことと思います。 今後は是非、継続していただきたいと思ひます。また、前述のとおり、地域の佐倉南高校と連携し、高校生ももっと参加の機会を与えていただければと思ひます。地域に貢献することで、高校生も成長できますので。</p>
総合評価	A

委員②	<p>★ジャンルについて</p> <p>・多様な事業が数多く学習会が豊富でよい。</p> <p>★事例発表の事業について</p> <p>・異世代交流ができる機会としてとても良いと思ひます。 ・ボランティアの参加が特に良い。</p>
総合評価	A

委員③		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学、図工、茶道、華道、社会科見学とバラエティーに富んでいる企画であり自分の興味のあるものを選択できるところがよい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供は夏休み意外と退屈していると聞く。家庭でもなかなかできないことを学校以外の所で学べることは有意義である。
総合評価	A	

委員④		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域と連携しながらも、宿泊体験などを通じて、学校生活では体験できないような事業が展開されていると感じます。たとえば、親元を離れた共同生活の体験は、たくましく生き抜く力を育むことを目的とした本旨に沿うものと考えます。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座によって、参加人数に偏りがあったことを受けて、対象や講座内容についての検討作業はこれから必要と思われます。また、低学年でも参加出来る講座を増やせるような講座の企画に期待します。
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な事業が企画・運営され中でも、体験型の事業は心技体を育むものになっています。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館は様々な団体が利用し高齢者・障害者・児童に関連する活動をしている団体も多くあります。そのような方々には色々な場面で参加してほしいものです。参加費も賛成します。子どもが学校では出来ない体験を是非、継続していただきたいと思います。
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残酷、残忍な青少年犯罪がニュースを賑わし、「いじめ」も後を絶ちません。それを苦にした自殺も続いています。酒・タバコに留まらず、クスリに手を出し、犯罪に手を染めています。性風俗犯罪も増加しています。問題の鍵は「児童期」「少年期」にありとも言われるようですが、青少年問題は幅が広く且つ奥が深い、とても難しい問題です。公民館の「青少年教育」事業により、ゴムのように形を持たない子どものハートに触れる場は、学校や家庭だけでは得られない貴重な体験の場になっているに違いないと思います。ハートが壊にならないうちに、いろいろなことを体験できれば…公民館活動の青少年教育とは、「いくつもの未知との遭遇」であって欲しいと、勝手に思い込んでいます。夏休み子ども体験教室は、「部活」や「塾」で「忙しい子どもたち」に、体験活動の機会を提供できる貴重な場になっていると思います。自己評価にあるように、子どもたちの自発的な活動を促しているだけではなく、ボランティアや公民館活動サークルの協力を得ることで、地域との連携も図られています。「種まき」は確実に実行されていると感じます。問題、課題は事業を進めていく上で必ず出てくるものであり、実施すれば必ず成果は生まれるものと思います。地域の方々と協働して、今後とも青少年事業に取り組んでいただきたいです。なお、通学合宿については、生活体験を通じた子どもたちの交流や異世代交流が図られ、家族や地域を考えるきっかけともなることから、いろいろと問題・課題もあって大変かと思いますが、参加校や期間の再見直しを含めてより効果の高い事業となるよう検討していただきたいです。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非日常的日々」となる夏休みに、普段体験できないことに触れられる場があるということは、素敵なことだと思います。特に少年期は、いろいろなことに触れることで成長していく、視野が広がっていく大切な時期ですが、そのような「場」があることを、積極的にPRして欲しいと思います。小学校の目の前にあり、放課後・休日には公民館に児童が訪れるのに、講座に参加する児童は少ないとのことですが、その原因は「塾」で忙しいからなのでしょうか、「ゲーム」に忙しい、ということが一番の原因かも知れませんが……参加しやすい夏休みに体験型の講座を設けているとのこと、ほぼ対象人数の参加があります。児童にとっても異年齢交流、学区を越えた交流という、少年期に大切な「人間関係学習の場」が提供され、公民館の地域活動サークルが講師となることにより、成果の発揮、世代間交流や社会貢献の場ともなっていることから、より多くの児童の参加が望まれます。何よりも、いろいろな体験型講座を検討していただきたいです。以前、初めてのギター教室がありましたが、音楽や今回のような美術活動、室内スポーツなど、メニューを豊富にしていっていただきたいです。また、「成果」を何らかの形で情報発信、あるいは活動として発信できないでしょうか。例えば、JR佐倉駅市民ギャラリーを活用して参加者の企画作業により展示発表することなど、もう一つのメニューを加えてはどうか、と思います。各小学校や学童保育所の掲示コーナーなども活用して、公民館講座で行っている「友達」の活動を可視化することで、公民館講座への誘いともなるのではないのでしょうか。
総合評価	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の対象者がすべて小学生なので、それ以上の年齢も参加できる事業にならないでしょうか。年齢の幅が広すぎて活動内容が難しいようであれば、ボランティアとして募集するなど違った参加方法でも良いのではと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した小学生の感想も講師からの感想もあり有意義な事業であったと思います。魅力ある事業展開を継続して頂きたいです。
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化、ものづくり、自然との触れ合い、宿泊体験等の各種事業を展開し、子供たちが自主的に協力し合い、創造力豊かに取り込むことや地域ボランティアの協力により地域とのつながりが出来たことは大きな成果と評価します。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子ども茶道教室において、参加者は楽しみながら伝統文化に触れることができたことは評価します。しかし、参加者が少ない点に一考を要します。この事業に限っては、親子で参加にしては如何でしょうか。是非、茶道経験者の少ない現在でありますので多様な面より改善しつつ事業の継続を希望します。
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用団体の方々や県・市の職員の方が講師をされ、夏休みの小学生が様々な体験に参加できることは魅力的な企画だと考える。青少年教育を公民館が行うことは、学校や家だけではなく地域で子どもを育てるという大きな意味があり、継続を望む。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数に偏りがあったとのことだが、どの講座もそれぞれ興味深い内容だと思う。チラシを拝見すると、わかりやすく内容や楽しさが伝わってくるほうがよいのかなと考える。子どもの目線で工夫してみたいかと思う。
総合評価	B	

委員⑩		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容は多岐にわたっており、異学年の子どもや地域の大人との触れ合いの時間を通して、人間関係の幅が広がる場を提供している。事業内容のさらなる充実を図り、事業を継続していただきたい。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けの5つの事業が開催されており、それぞれ子ども達に興味を抱かせる内容になっている。学校では体験できない雰囲気の中で、楽しさを感じながら取り組んでいる様子がうかがえる。 ・地域の方々と触れ合いながら体験活動できる場はなかなか無いので、地域とのつながりが深くなる良い事業だと思う。継続してください。

委員⑪		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根郷公民館の通学合宿は、子供達が家庭や学校を離れ異年齢の生徒たちと寝食を共にする、共同生活をする事で自主性、協調性を高め、地域の絆を強めるための良い企画です。 ・事業の継続と活性化を進めて欲しいと思います。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子供教室は、水彩画、茶道、華道、勾玉づくり、社会科見学、科学実験等、多彩で有意義な企画です。 ・書道教室や将棋教室なども増やして欲しいと思います。

委員⑫		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域と連携しての体験活動の場、ものづくりや自然とのふれあい、伝統文化にふれるなど事業内容が多彩・豊富なのがありがたい。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しめそうな内容が多く、企画の工夫をありがとうと思うとともに、参加を誘うパンフレットも楽しく、そそられる気がした。 ・参加人数の少ないものもあるが継続されることを望みたい。

委員⑬		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道は未だしも華道教室の継続は疑問視します。日常使うノコギリの使い方などで、ある物を作成するほうが「物づくり」「自分で作りたいもの」を学べると思います。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「勾玉づくり」は「歴史を学ぶ上で今後も続けていただきたい。

委員⑭		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年期に広く体験をすることは、自分自身の趣向と将来の進路を考える上で大変有益と思う。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の増加のために、学校教育のカリキュラムに組み入れてもよいのではないと思う。

委員⑮		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年に体験活動等を提供する取り組みはとても重要であり、実施するにあたり多くの人々の協力が必要である。公民館利用者等の高齢者ボランティアと世代間を超えた触れ合いの場を設けたことは青少年教育のみならず世代間交流ができ一石二鳥の成果がある。 ・今後も継続すべきである。
総合評価	A	<p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域新聞での募集や参加しやすい夏休みに行う等工夫がなされている。参加者の少ない講座があるのは今後の課題である。 ・発表も分かりやすく現場の雰囲気がよく伝わってきた。